

BCP (Business Continuity Plan) - 事業継続計画 - とは  
- 倒産しない会社づくりを目指して -

開倫塾  
塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

先週の「開倫塾の時間」では、勉強の仕方のお話から少し外れて、企業を継続させるにはどうしたらよいか、つまり Business Continuity Plan(ビジネス・コンティニューイティ・プラン)、略してBCPについてお話させていただきました。放送をお聴きの皆様の中から、もう少し詳しく知りたいという要望が寄せられましたので、申し訳ありませんが今回もその話の続きをさせていただきます。

2. BCP (Business Continuity Plan) - 事業継続計画 - とは - 倒産しない会社づくりを目指して -

(1)開倫塾には、企業にとっての行動指針というものが3つあります。「学ぶに値する塾づくり」と「働くに値する職場づくり」、「倒産しない会社づくり」です。この3つの指針に沿って、学習塾の活動を日々行っています。

(2)その中の「倒産しない会社づくり」のために、台風や地震などの自然災害があった場合にはどうするかということをも10年ぐらい前から考えてきました。特に最近では新型インフルエンザの流行などもあり、BCP(事業継続計画)について深く考え、その対策を立ててきました。

(3)それを学習塾業界の雑誌やいろいろな勉強会などで発表してきたところ、8月31日発行の「日経ビジネス」というビジネスマン向けの雑誌に、当塾の取り組みが2ページにわたって掲載されました。2日後の9月2日には「ワールド ビジネス サテライト」というテレビ番組で紹介され、私も出演させていただきました。また、先週は私の所属している栃木県経済同友会という団体が新型インフルエンザ対策についての提言・報告を記者発表しました。御覧になられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

このように、新型インフルエンザの感染者が多くなった場合にどのように事業を継続していったらよいかという Business Continuity Plan(事業継続計画)についての関心が非常に高まっています。

(4)一番大切なことは、社内に新型インフルエンザが広まらないようにする予防です。そのためには、手洗いの徹底と全員のマスク着用が大切になると思います。

(5)マスクは予防に役立つのかという指摘もありますが、社内に感染者が出て咳やくしゃみなどをしたときに、そのウイルスを飛散させないためには効果があると言われています。もちろん感染者の咳やくしゃみによって飛散したウイルスから身を守るためにも役立つようですが、それより

も感染者自身がウイルスを撒き散らさないために有効なようです。ですから、着用したほうがしないよりもはるかによいと思います。

(6)そこで、開倫塾では、現在通塾している 6000 名以上の塾生の皆様全員と約 400 名の職員全員にマスクを着用していただき、同時に手の消毒をしていただくようお願いしています。校舎の入り口に置いてある消毒液を使って手を消毒し、その上でマスクをつけて入室するのです。この方法で、感染をできるだけ防ごうと努めていますので、ご参考にいただければと思います。

(7)次に、本格的な事業継続計画についてお話しします。全体の 40 %にあたる職員の方が休んでも仕事が継続できるように、いつもいつも考えています。

(8)企業でこれを考えるには、可動計画や仕事を継続させるために最小限必要となることをもう一度洗い出した上で、各企業企業・各職場職場で考えていくことが必要であると思います。

(9)一番心配なのは、コンピュータを使った仕事に従事している方と経理を担当している方が休まれた場合です。経理担当者がいないと、支払期日までにいろいろな支払いができなかったり、給料の振り込み手続きができなくなったりしますので、大変なことになります。これが一番大切なことですので、ぜひ対策を十分にお考えいただきたいと思います。

(10)もちろん他の仕事をしている方もそれぞれに大事ですので、この方が休んだらどうなるのかということを各職場職場でよく考え、バックアップ態勢を整えていただきたいと思います。

(11)この会社をこれからどのようにするのか、仕事を継続するのか・休みにするのかの経営上の意思決定も大事です。意思決定は、経営者つまりトップが中心となって行います。これが遅れてしまうと、倒産まではいかないまでも、その寸前まではいつてしまう会社が今後は増えてくると思われる。

大変ではありますが、事業継続のために、予防と 40 %の社員が休みになっても大丈夫なソフトづくり、最終的な経営上の意思決定は誰(会長か・社長か・常務か)がするのかをよく考えて、それぞれの役割分担を明確にしておいていただきたいと思います。

(12)厚生労働省から、10 月中旬には新型インフルエンザ感染者が 2500 万人に上るだろうという警告が出ましたので、それに備えて、今日は Business Continuity Plan、つまり各企業が各職場をどのように維持するのかについて私の考えを述べさせていただきました。

### 3. おわりに

(1)この放送をお聴きの皆様の中にも仕事をなさっている方がたくさんいらっしゃると思いますので、どのようにしたら自分の会社・組織・職場などを守ることができるか、継続させることができるかを今のうちからじっくり考えて計画を練っていただきたいと思います。

(2)もちろん 2500 万人感染という事態に陥らないのが一番ですが、警告が出ていますので、皆で力を合わせてそれに備えていきましょう。

- 2009 年 9 月 19 日 -